

令和3年度沖縄公庫八重山支店の融資実績について

～依然として新型コロナウイルス感染症の影響残る～

1. 沖縄振興開発金融公庫八重山支店（支店長：仙野健）の令和3年度融資実績は、426件（対前年度比36.4%）、52億94百万円（同32.3%）となりました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者からの申込みにより、融資件数、金額とも大幅に増加しましたが、令和3年度は反動減で融資実績は大きく減少しました。

【図表1】

2. 資金の用途別では、令和2年度に引き続き、運転資金の割合が高い水準（83.6%）となりました。令和2年度のピーク時から是一段落したものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者から資金繰りのための運転資金需要があったためです。【図表2】

3. 資金別では、中小企業資金が22件（前年度比57.9%）・23億70百万円（同62.2%）、生業資金が207件（同22.9%）・24億7百万円（同21.3%）、生活衛生資金が7件（同30.4%）・67百万円（同28.4%）、農林漁業資金が23件（同47.9%）・2億72百万円（同31.4%）と、各資金とも前年度実績から大きく減少しました。【図表3】

生業資金のうち、石垣市商工会、竹富町商工会、与那国町商工会が推薦する無担保・無保証のマル経資金（小規模事業者経営改善資金）及び沖経資金（沖縄雇用・経営基盤強化資金）は、合計で30件（前年度比54.5%）・2億8百万円（同51.3%）と前年より減少しましたが、3商工会合計で37件・3億35百万円の新型コロナ関連融資の斡旋がありました。【図表4】

教育資金は、167件（前年度比107.1%）・1億78百万円（同118.3%）となりました。沖縄公庫の独自制度である「教育離島特例」や「沖縄人材育成資金貸付」のほか、「母子家庭・父子家庭特例」、「多子特例」など利率や返済期間が優遇される特例制度のご利用実績がありました。【図表5】

4. 業種別では、「飲食店・宿泊業」、「運輸業」など観光関連産業の割合が高く、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いていたことがうかがえます。【図表6】

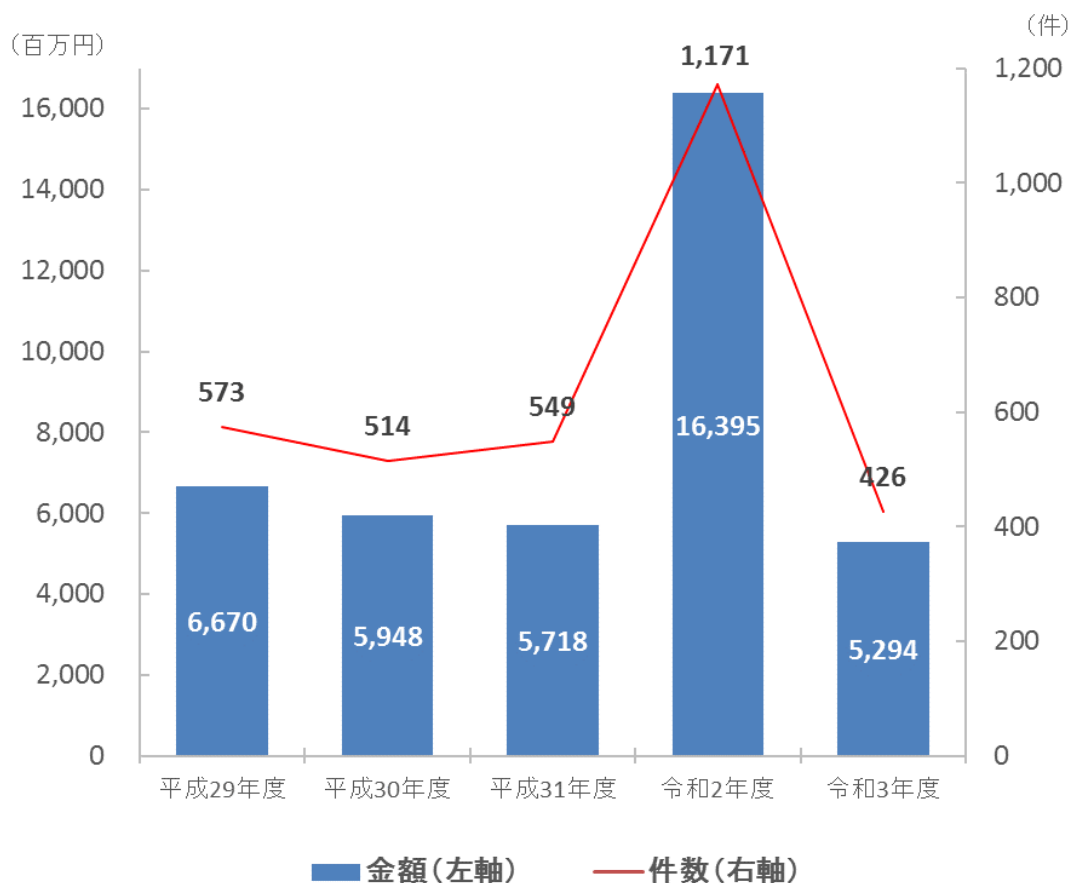
5. 沖縄公庫八重山支店は、八重山地域の持続可能な地域社会づくりに向け、今後も商工会等の関係機関や民間金融機関との連携を図りつつ、新型コロナウイルス感染症で影響を受けている事業者等への資金繰り支援の対応を含め、多様な資金ニーズに対応して円滑な資金供給に努め、八重山地域の振興を支援してまいります。

〔問合せ先〕

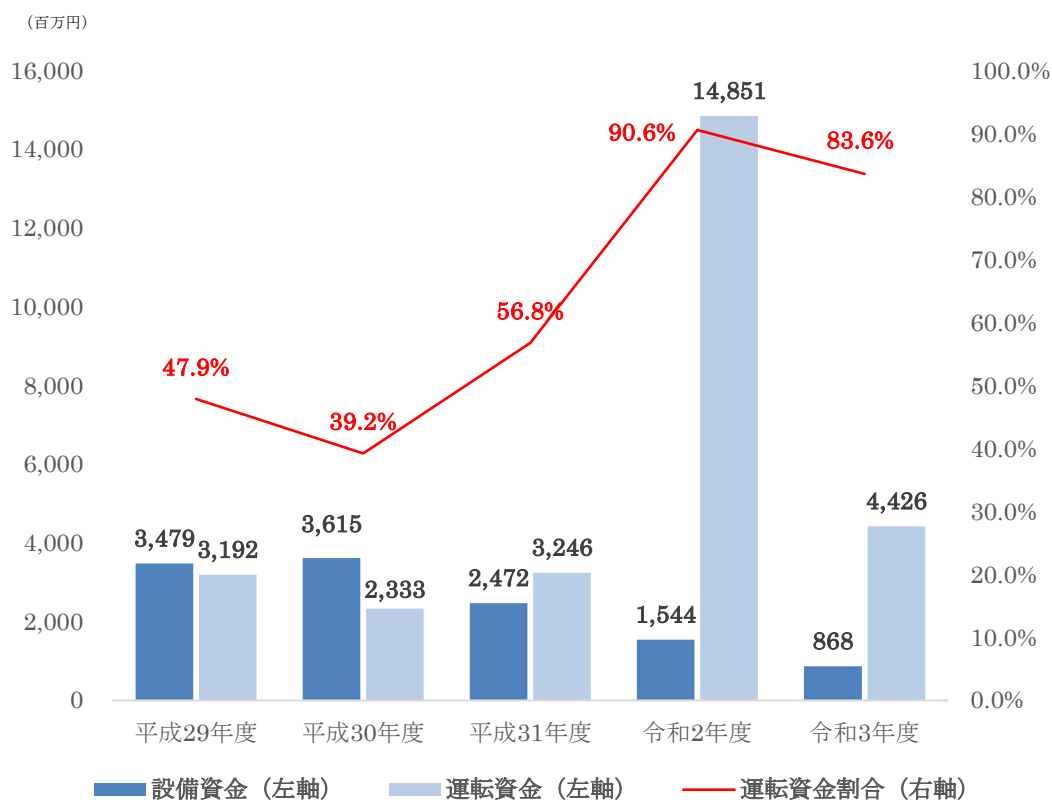
八重山支店（担当：亀谷・野原） TEL 0980（82）2701



【 図表1 融資実績の推移 】



【 図表2 用途別融資実績の推移 】



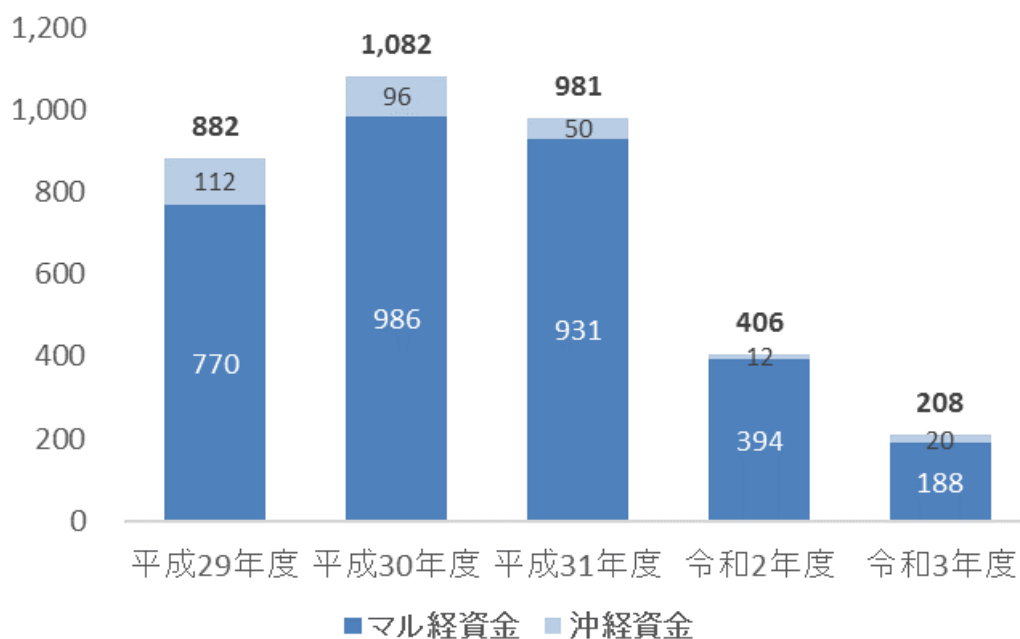
【 図表3 資金別融資金額の推移 】

(単位：百万円)

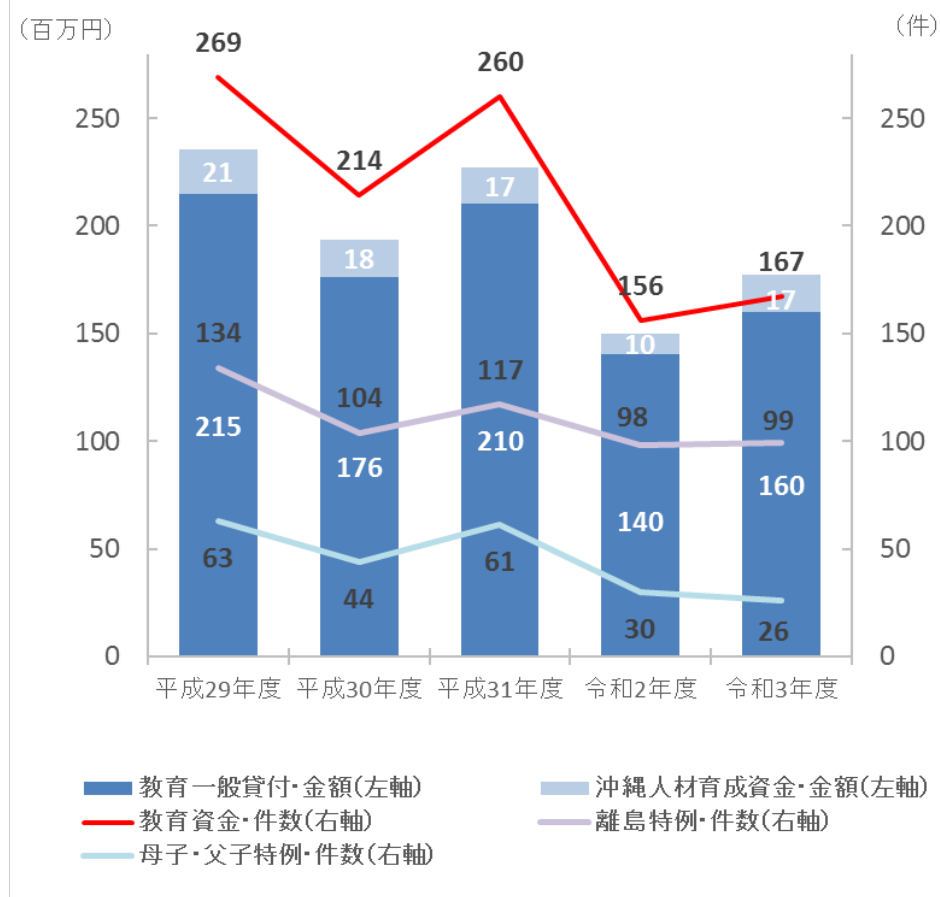
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
中小企業資金	3,881	2,801	1,953	3,813	2,370
生業資金	2,263	2,351	3,237	11,300	2,407
恩給担保資金	58	68	12	0	0
教育資金	235	194	227	150	178
生活衛生資金	113	197	9	236	67
医療資金	0	0	0	30	0
農林漁業資金	120	337	281	867	272
合 計	6,670	5,948	5,718	16,395	5,294

【 図表4 マル経資金・沖経資金の推移 】

(百万円)



【 図表5 教育資金の推移 】



【 図表6 業種別融資金額構成比の推移 】

